

浦和大学

総合福祉学部 ニュースレター

Topics

相談援助の理論と方法 I

患者さんから命の尊さを学ぶ授業

～リレーフォーライフとの出会い～

7/6 の「相談援助の理論と方法 I」では、乳がんを 2 年前に発症し、現在もがんと闘っている高橋かほるさんに来て頂き、「RFL(リレーフォーライフ)との出会い」というテーマで特別授業を行いました。この RFL というのはがん患者やそのご家族を支援し、地域全体でがんに向き合い、がん征圧をめざすチャリティー活動で、1985 年アメリカ人外科医によって「がん患者は 24 時間闘っている」というメッセージを掲げて、がん患者の勇気をたたえ、24 時間夜通し行われるイベントとして始められました。現在は世界 20 カ国で開催され、毎年世界中で 400 万人を超える人たちが参加しています。日本では、日本対がん協会と各地のボランティアでつくる実行委員会が、全国 40 カ所以上で RFL を開催しています。浦和大学は 7 年前から、さいたま市で開催される RFL に毎年、多くの学生がボランティアとして 24 時間体制で参加しています。高橋さんはもともとヨガインストラクターとして地域で活躍されていましたが、現在は乳がんを体験されたことから、がん患者のためのリハビリを目的としたメディカル・ヨガを県内各地で開催しています。そして RFL では多くのがん患者(RFL では「サバイバー」つまりがんを闘っている人と呼ばれています)にヨガの本来の目的である快適で安定した心を作ることを目的にメディカル・ヨガを実践し、その普



高橋かほる さん

及活動を行っています。この講義ではヨガによって救われたご自身のがん体験談から、現在の RFL での活動について紹介され、講義の終わりにはがん患者に対して行ってるヨガを実践を交えて紹介していただきました。学生は高橋さんの体験や活動を通してがん患者の置かれている現状や命の尊さそして RFL の意義について学ぶことができました。

なお、今年も 9 月 12～13 日に大崎公園で開催される RFL に参加するために、矢野知彦先生を中心に準備を進めています！



高橋さんと一緒にヨガを体験する学生たち

次回のオープンキャンパスは 8 月 23 日(日)

模擬授業の内容などの最新情報を <http://www.urawa.ac.jp/> でチェックしてね！